

## ベトナムにおけるLNG to Powerプロジェクトの事業性評価に向けた合弁会社の設立

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、このたび、ベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム」）における最大のIPP事業者<sup>\*1</sup>であるペトロベトナムパワー社（社長：レ・ヌー・リン、以下「PVP」）、ベトナムクアンニン省の機械生産・販売事業者であるコラビ社（会長：デイン・ホアン・リエン、以下「コラビ」）、丸紅株式会社（社長：柿木 真澄、以下「丸紅」）と、合弁会社 Quang Ninh LNG Power JSC 社（以下「QNLP」）を設立しました。

QNLP は、ベトナムクアンニン省カムファ地区における、陸上 LNG 受入基地および天然ガス火力発電所（発電容量：150 万 kW）の開発・建設・運営、LNG 調達、ベトナム電力グループへの売電を行う LNG to Power プロジェクト<sup>\*2</sup>（以下「本プロジェクト」）の事業性評価を実施します。事業性評価では、経済的合理性・技術的実現性を踏まえた検証、EPC<sup>\*3</sup> 事業者選定、LNG 調達計画の策定等を実施し、最終投資意思決定のうえ、2027 年後半からの商業運転開始を目指します。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において、海外事業の拡大・多様化および CO<sub>2</sub> ネット・ゼロへの挑戦を掲げています。今後も、自ら事業を運営・発展させる「主導的バリューアップ型海外事業」を推進し、これまで蓄積してきた経験・ノウハウを活かして本プロジェクトを含めた LNG インフラ事業の拡大を通じて、アジア諸国の発展と低炭素化・脱炭素化の実現に貢献してまいります。

\* 1：独立系発電事業者（Independent Power Producer）

\* 2：ガス火力発電の燃料である LNG の調達、気化から発電まで一貫して行うプロジェクト

\* 3：設計・調達・建設（Engineering, Procurement and Construction）

### 【QNLP の概要】

会 社 名	Quang Ninh LNG Power JSC 社
社 長	グエン・ホン・グエン
設 立	2022 年 11 月
所 在 地	ベトナム社会主義共和国クアンニン省
事 業 内 容	LNG 受入基地および天然ガス火力発電所に関する建設・運営等

### 【プロジェクト所在地】



【PV Power 社の概要】

会 社 名	ペトロベトナムパワー社 (Petro Vietnam Power Corporation)
社 長	レ・ヌー・リン
設 立	2007年5月
所 在 地	ベトナム社会主義共和国ハノイ市
事 業 内 容	IPP、発電所建設・運営

【コラビ社の概要】

会 社 名	コラビ社 (COLAVI JSC)
会 長	デイン・ホアン・リエン
設 立	2003年11月
所 在 地	ベトナム社会主義共和国クアンニン省
事 業 内 容	鉱物採掘等に使用する機械生産・販売等

【丸紅の概要】

会 社 名	丸紅株式会社
社 長	柿木 真澄
設 立	1949年12月
所 在 地	東京都千代田区
事 業 内 容	ライフスタイル、情報・物流、食料、アグリ事業、フォレストプロダクツ、化学品、金属、エネルギー、電力、インフラプロジェクト、航空・船舶、金融・リース・不動産、建機・産機・モビリティ、次世代事業開発、次世代コーポレートディベロップメント、その他の広範な分野における輸出入（外国間取引を含む）および国内取引、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動等

以上